NIPPON ANTENNA

取扱説明書

共聴用混合器

UHF（ch13〜40・45〜62）／UHF（ch42）用

MODEL

MXA（13−40・45−62/42）

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

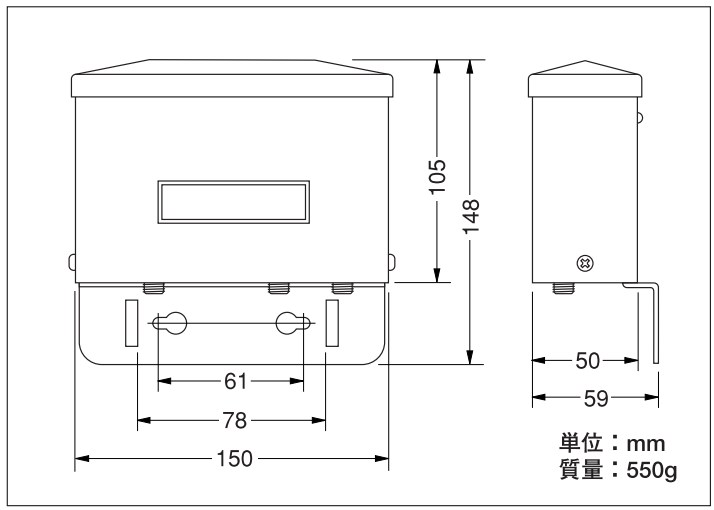
■特　長

1. 本製品はUHF帯（ch13〜40・45〜62）と（ch42）を混合することができます。
2. 本器はアルミケースを使用し、防滴構造となっておりますので耐候性に優れ、屋外でも安心してご使用いただけます。
3. 本器はポール取付、壁面取付どちらでも可能です。

■取扱上の注意

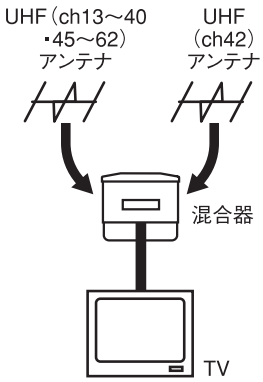
1. ブースタ（増幅器）のご使用に際しては、その取扱説明書を十分お読みください。
2. 高所での機器取付作業には、足場と機器の落下等に十分ご配慮ください。
3. 本器の分解等は故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

■外観及び寸法図

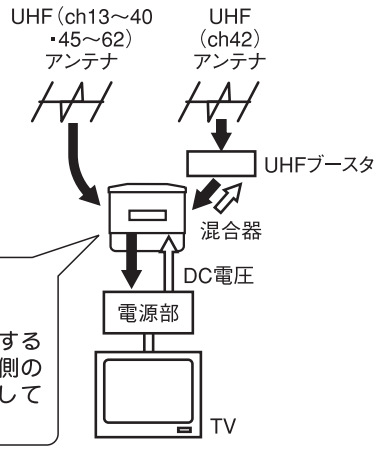


■混合器の接続例

●ブースタを使用しない場合



●UHFブースタを使用する場合



ポイント

ch42側にブースタを接続する際は、ch13〜40・45〜62側のチョークコイルを取り外してください。

■特性表

項目 ＼ 使用帯域	UHF	UHF
混合チャンネル（ch）	13〜40・45〜62	42
通過帯域損失（dB）	5以下	6.5以下
阻止帯域減衰量（dB）	20以上	20以上
入力インピーダンス（Ω）	75	75
出力インピーダンス（Ω）	75	
電圧定在波比	3.0以下	3.0以下
使用温度範囲（℃）	−20〜＋40	

●各入力端子と出力端子間電通　最大（DC15V・0.5A／AC30V・1A MAX）

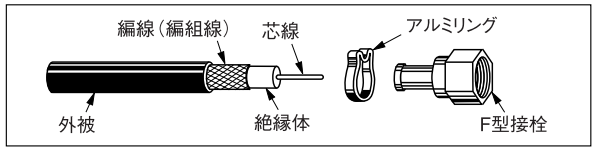
日本アンテナ

■同軸ケーブル（5C）加工例とF型接栓取付方法

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブル・コネクタの名称（75Ω用）



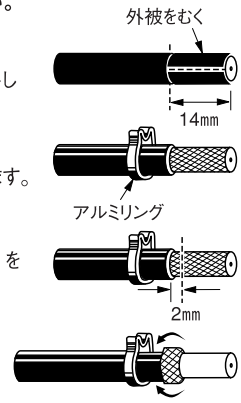
●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）

❷ 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2㎜程度はなして編線（編組線）をていねいに切り落としてください。

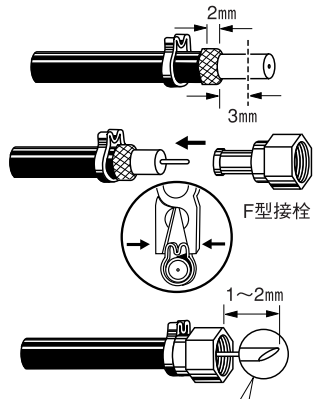
❹ 編線（編組線）をめくりあげます。



❺ 編線（編組線）から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。

❻ F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編線（編組線）の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。
長くしますと接栓座を破損します。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。

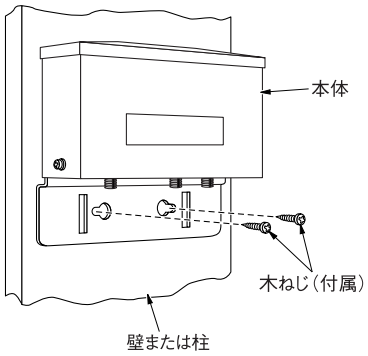
●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

⚠注意 加工の際の、切りくずの扱いや工具の仕様には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

■取付方法

●壁面取付方法

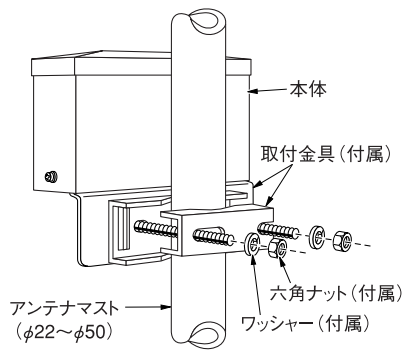
図のように付属の木ねじで取付けます。



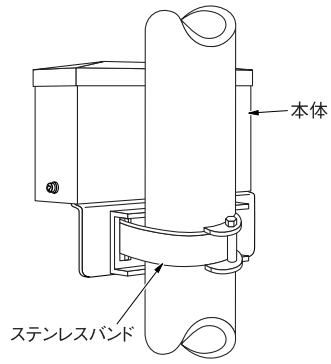
●マスト取付方法

◎Uボルトを使用した場合

図のようにマストを取付金具ではさみ、付属の六角ナットで締め付けて固定します。



◎ステンレスバンドを使用した場合



この時はUボルトをはずし、市販のステンレスバンドを通して固定してください。

■電通使用時の注意事項

本製品は全端子電流通過型となっておりますが、ご使用にあたっては以下の事項をお守りになった上でご使用ください。アンテナの接続端子まで電流が流れますと電流がショートする可能性があります。

1. 両入力端子へ電流通過させる場合、及び両入力端子とも電流通過させない場合
   ⇒そのままご使用ください。
2. ch42入力端子と出力端子間のみ電流通過させる場合
   ⇒ケースを開けて、基板内の電通コイル1（ch13～40・45～62端子側のチョークコイル）をニッパー等で取外してください。
3. ch13～40・45～62入力端子と出力端子間のみ電流通過させる場合
   ⇒ケースを開けて、基板内の電通コイル3（ch42端子側のチョークコイル）をニッパー等で取外してください。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D832010400　平成15年11月